

平和のキャンパ

次世代
のために

虹っ子 平和スタディツアー



被災した地域の「過去」「現在」「未来」を学び、自分の目で実情を確認することを目的に中高生と宮城・福島を訪問。コープこうべの平和活動は、「戦争の対極にある平和」だけでなく、当たり前の生活が奪われてしまう「自然災害」からも学び、次世代につなげていきます。

広島サイクリングの旅

中高生とともに広島市の被爆遺構を巡るサイクリングの旅を実施。平和ガイドや被爆者から当時の状況について話を聞くことで「平和」の大切さへの理解を深めています。



災害に
備える

阪神・淡路大震災から30年を機に、「震災の記憶」を語り継ぐとともに、「防災の意識」を高めることを目的に、「阪神・淡路大震災30年を考えるワーキンググループ」を発足。組合員有志が23人集まって、さまざまな企画を立案・運営しました。

いのちを守る備え ふだんの暮らしに防災を!



1月25日 生活文化センター
参加者60人

体験型・ワーク型の学習会を組み合わせ、いざというときに「いのちを守る」ためにどうすればいいのかを考えました。

みんなで楽しむ防災フェスタ 「防災」伝える大切さ

2月15日 生活文化センター
参加者約160人

地域で防災に取り組む9つのグループが、それぞれの活動を紹介・交流を行いました。また、落語家の桂吉弥さんを招き、入門したばかりの震災当時、「落語」を通じて感じたことをお話いただきました。



平和を
考える
ために

各地区での取り組み



戦争の遺構を訪ねる(1地区)



平和をテーマにディスカッションする中学生(3地区)



平和のついでに演奏する高校生(6地区)



世界の紛争を考える学習会(大阪北)

被爆者
のために

被爆者の治療用医療機器購入費として、毎年、広島と長崎の原爆病院に寄贈しています。



広島・長崎の
原爆病院への寄贈。
そのほか、
次世代へつなげる
平和活動に
活用しています。

その想いを平和につなげます。

平和のキャンパ

用途 平和を学ぶ、平和を考える、
平和を願う、平和な世界をつくる活動に活用

8月

2024年度募金額

465万480円